

2026年4月7日

株式会社ディーエイチシー

DHC サプリメントの包装袋が新たな包装資材に生まれ変わり！ ～使用済み包装袋の再資源化に成功、実用化に向けた第一歩～

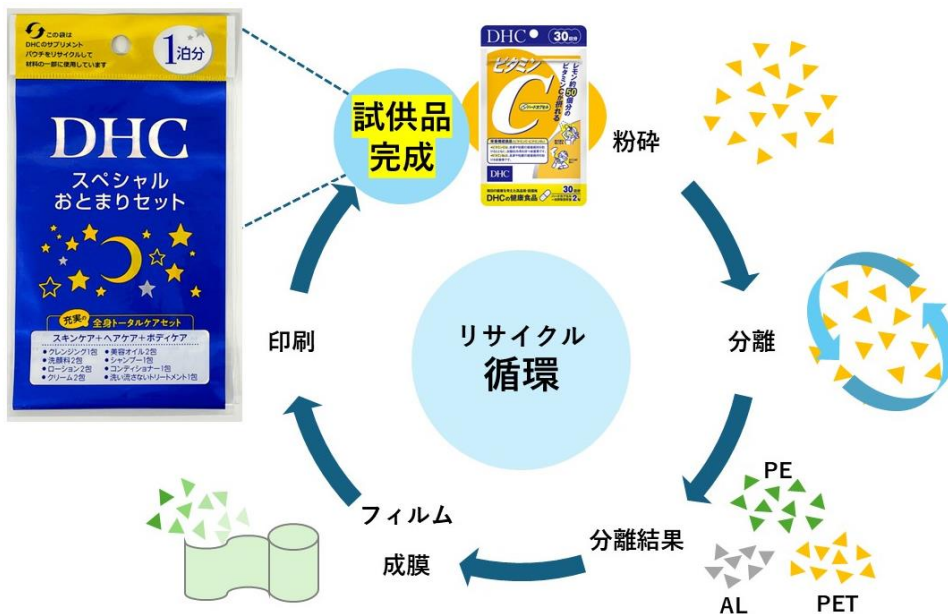
株式会社ディーエイチシー(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮崎緑、以下:DHC)は、サプリメント包装袋の再資源化を目的に、artienceグループの東洋インキ株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:安田秀樹、以下:artienceグループ)をはじめとする複数企業との共同研究により、包装袋のリサイクル技術に新たな知見を見出しました。

今後は、本技術を出発点として、サプリメントの使用済み包装袋を新たな包装資材へ循環させるリサイクルモデルの構築および実用化を目指してまいります。

DHCの粒状サプリメントの包装袋には、「アルミ箔ラミネートフィルム」構造のパウチ(以下、アルミパウチ)を採用しています。このパウチはサプリメントを光や酸素、湿気から守ることで、安心・安全な品質を維持する重要な役割を果たしています。一方で、アルミ箔と複数のプラスチックフィルムを貼り合わせた構造であるため、使用後の分離が難しく、再資源化が困難とされてきました。その結果、代表的なDHC製品だけでも、年間約100トンの包装袋が廃棄処理されていると推測しています。

このような課題を踏まえ、当社は安心・安全な製品の提供に加え、使用後の廃棄段階まで含めた環境負荷低減対策を重要なテーマと位置付け、artienceグループをはじめとする複数企業と連携し、2024年1月よりアルミパウチの再資源化に向けた研究を推進してきました。

今回の研究では、廃棄予定のアルミパウチを粉砕、分離、再加工、物性評価、パッケージ適性検証まで段階的に実施。複数企業の技術知見を組み合わせることで、実用レベルでのリサイクル技術を見出しました。今後は、このリサイクル技術を出発点として、持続可能な資源循環の実現に向け、包装技術および環境配慮型プロセスの開発をより一層進めてまいります。



■ DHC オンラインショップお問い合わせページ ■

<https://www.dhc.co.jp/guide/link.jsp>

<補足資料>

■ リサイクル技術の詳細について

本技術は、artience グループが保有するラミネートフィルム分離技術を応用し、接着層の調整を行うことで、従来は難しかったアルミ箔とプラスチックフィルムの分離を実現しました。

さらに、分離後のプラスチック原料を活用して新たなフィルムを成膜し、複数企業の技術と組み合わせることで、別製品パウチとして再生することに成功しました。

■ DHC サプリメントの包装袋について

DHC のサプリメントの包装袋は中身を安定的に保存するために「アルミ箔ラミネートフィルム」を採用しています。ラミネートとは、複数の異なる種類のフィルムを貼り合わせて一枚のフィルムを作る工程であり、フィルムを複層構成にすることで、より高機能にすることができます。

「アルミ箔ラミネートフィルム」とは

複層構成の一部に薄く延伸したアルミ箔を使用したフィルムで、極めて高い遮光性・酸素バリア性・水蒸気バリア性を有します。

